

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る島根県立大学の教育・研究・諸活動に関する方針

(この大学方針は国や島根県の通知(知事メッセージや県からのお願い等)を踏まえて大学独自に方針を定めたものです。)

R3. 9. 15

※赤字が今回の変更箇所です。

b>

キャンパス	教育・研究活動(準備含む)	授業(講義・演習・実習)	インターンシップ(IS)	就職活動	学生の構内立ち入り 学外者のキャンパス 訪問	クラブ・サークル活動	学生のアルバイト	学生の大学施設利用 (体育館・グラウンド等)	大学施設の外部貸し出し	図書館	学内会議	事務体制	学生寮の運営	県境をまたぐ移動と健康観察	学生の海外渡航	その他
浜田 ※9/15 から		各キャンパスにおいて各学部・学科・別科・大学院研究科・短期大学の定めるところにより、対面授業を中心として授業を実施することとします。対面授業を実施する際は、別に定めるガイドラインに準ずることとします。なお、基礎疾患があるなどの理由により対面授業への参加が困難な学生のために最大限の配慮【例えば、遠隔授業の並行実施(ハイブリッド型授業)や課題等の代替措置により欠席扱いにしない】を実施します。検温をはじめとする日々の健康観察を行い、基本的な感染症対策に取り組んでください。	ISについて、次の条件を満たすものについて、参加自粛を解除します。事前に「インターンシップ届」を提出の上、感染拡大防止対策に最大限の配慮をすることがあります。・ISへの申込日及びIS開始日の前日に、IS実施地域への新型コロナウイルスに関する移動制限が発出されていないこと。	引き続き、WEB形式の活動を主とすることを推奨します。島根県が定める移動自粛要請地域に滞在した場合は、島根に帰県後2週間は健康観察が必要ですが、学内で実施するPCR検査の結果が「陰性」であった場合、または新型コロナウイルスワクチンの2回目接種後14日を経過している学生については、保健室に報告の上、帰県後2週間を待たずに対面授業の出席を許可します。但し、上記検査が陰性であっても、発熱等の体調不良がみられた場合は出席停止の上、かかりつけ医や保健所に相談することとします。	感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。高大連携活動及び入試広報イベントについては、別に定めるガイドラインに準ずることとします。	各キャンパスにおいてコロナ対策として定めたガイドライン等を条件に、一部の課外活動を許可します。(ポランティア活動を含む)	・アルバイトは、十分な感染予防措置がされている施設・事業所であることを前提とし、自らも感染拡大防止対策に最大限の配慮を行って下さい。		引き続き、全面禁止とします。なお、以下の利用については、一部許可します。 ・会話を伴わない試験会場利用(高校等の模擬試験含む) ・学生、教職員を対象とした献血や社会貢献に資する利用 ・選挙に伴う、開票所及び学生、教職員向けの期日前投票所利用	学生・教職員・市民研究員に加え、感染拡大防止対策を講じた上で、学外利用者の受入れを再開します。なお、館内のグループ学習室等の自習室利用は引き続き不可とします。			学生寮は集団生活の場であり、個人のプライバシーを尊重しつつ、コロナ禍の現状では寮生各自の行動に一層の責任が求められる。寮生各自の行動に責任を求め、感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。必要に応じて、対面会議も利用しますが、遠隔会議システム等を利用したオンライン会議の開催を推奨します。	・常時、健康観察(体温測定)を行い、体調不良時は絶対に外出しないでください。症状によっては、かかりつけ医や保健所に相談してください。 ・コロナウイルス感染症への感染が疑われる場合や濃厚接触者となった場合は、最寄りの保健所及び浜田キャンパス学生支援課まで連絡してください。また、対応方法に不安を覚えた際には遠慮なく大学事務局又はゼミ教員に連絡して相談してください。 ・感染拡大が報じられている地域への不要不急の移動は自粛してください。やむを得ずこれらの地域へ移動する場合は、特に以下の点に留意すること。 ➤感染症対策を徹底する。(マスク、手指洗浄、三密の回避等) ➤繁華街への夜の外出は控える。 ➤会食などの際も、いわゆる三密を避ける等の感染症対策が十分にとられていない店舗や施設の利用は控える。		
松江 ※9/15 から	引き続き、感染拡大防止に配慮して、教育・研究活動を行うことができます。	(2021年度秋学期の授業) ※浜田キャンパスでは、原則、対面授業を主として実施しますが、授業によっては全ての回次又は一部の回次で遠隔授業を実施します。来日ができない留学生には遠隔授業を実施します。なお、対面授業の実施に万全を期するため、感染しないための慎重行動と検温をはじめとする日々の健康観察を行ってください。 ※松江キャンパスでは、原則、対面授業を主として実施しますが、授業によっては全ての回次又は一部の回次で遠隔授業を実施します。対面授業の参加にあたっては「県境をまたぐ移動と健康観察」欄を遵守し、実習は別途周知しているガイドラインを遵守してください。 ※出雲キャンパスでは、学部での授業については、対面での授業を原則としますが、臨地実習前健康観察期間については積極的にオンライン授業の実施やハイブリッド授業との併用を行います。	WEB形式の活動を主とすることを推奨します。島根県外への移動が必要な場合は、『県内外への移動予定申請書』(寮生は外泊届を寮母に提出)にて移動予定をチューターに報告することとします。その他、臨地実習(寮生は外泊届を寮母に提出)にて移動予定をチューターに報告することとします。その他、臨地実習のある学生は「県境をまたぐ移動と健康観察」欄で示した内容を遵守してください。	引き続き、WEB形式の活動を主とすることを推奨します。島根県が定める移動自粛要請地域に滞在した場合は、島根に帰県後2週間は健康観察が必要ですが、学内で実施するPCR検査の結果が「陰性」であった場合、または新型コロナウイルスワクチンの2回目接種後14日を経過している学生については、保健室に報告の上、帰県後2週間を待たずに対面授業の出席を許可します。但し、上記検査が陰性であっても、発熱等の体調不良がみられた場合は出席停止の上、かかりつけ医や保健所に相談することとします。	感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。高大連携活動及び入試広報イベントについては、別に定めるガイドラインに準ずることとします。	各キャンパスにおいてコロナ対策として定めたガイドライン等を条件に、一部の課外活動を許可します。 ポランティア活動については、対面での活動は教員指導のもと十分な感染症予防対策を講じた上で行ってください。就職につながるポランティア活動については、事前下記申請先の許可を得た上で実施してください。(申請先:教育・保育関係機関での活動については教職センター、それ以外の一般企業・公的機関等での活動については教務学生課)	クラブ・サークル活動の対応に準ずることとします。	原則として引き続き、全面禁止とします。おはなしレストランライブラリーについては、引き続き下記について徹底することで、一般利用を行ないます。 ①基本的な感染防止対策(マスク着用、検温、手指消毒等) ②利用者の時間制限、人数制限等 ③図書、館内の消毒等 ④授業で必要な読み聞かせ等の集会は、別に定めるガイドラインにより、人数制限をして再開する。	引き続き、学生・教職員以外の利用禁止とします。	引き続き、感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。必要に応じて、対面会議も利用しますが、遠隔会議システム等を利用したオンライン会議の開催を推奨します。	引き続き、感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。必要に応じて、対面会議も利用しますが、遠隔会議システム等を利用したオンライン会議の開催を推奨します。	引き続き、感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。必要に応じて、対面会議も利用しますが、遠隔会議システム等を利用したオンライン会議の開催を推奨します。	引き続き、感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)に最大限の配慮をさせていただきます。必要に応じて、対面会議も利用しますが、遠隔会議システム等を利用したオンライン会議の開催を推奨します。	・島根県が定める移動自粛要請地域に滞在した場合は、島根に帰県後2週間は健康観察が必要であるが、学内で実施するPCR検査の結果が「陰性」であった場合、また新型コロナウイルスワクチンの2回目接種後14日を経過している学生については、保健室に報告の上、帰県後2週間を待たずに対面授業の出席を許可します。但し、上記検査が陰性であっても、発熱等の体調不良がみられた場合は出席停止の上、かかりつけ医や保健所に相談してください。 ・常時、健康観察(体温測定)を行い、体調不良時は絶対に外出しないでください。症状によっては、かかりつけ医や保健所に相談してください。 ・県外への移動、移動先での更なる移動(県内への帰着含む)の際は、事前に移動先・期間・体調をゼミ教員に報告してください。 ・新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる場合(発熱・咳・味覚症状等)は、かかりつけ医または最寄りの保健所に連絡してください。PCR検査を受けた場合は、松江キャンパス教務学生課まで連絡してください。 ・感染拡大が報じられている地域への不要不急の移動は自粛して下さい。やむを得ずこれらの地域へ移動する場合は、特に以下の点に留意すること。 ➤感染症対策を徹底する。(マスク、手指洗浄、3密の回避等) ➤繁華街への夜の外出は控える。 ➤会食などの際も、いわゆる三密を避ける等の感染症対策が十分にとられていない店舗や施設の利用は控える。	外務省の海外安全ホームページ上における、海外安全情報の危険レベル及び感染症危険レベルが2以上の国(地域)への渡航中止もしくは延期を要請します。但し、協定留学については各キャンパスが別に定めるガイドラインに準じて、プログラム開始の2か月前を目安に渡航の可否を決定します。なお、令和3年度春学期及び秋学期の海外におけるすべての研修を中止とします。	引き続き、大学関係者全員に感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)を要請します。また、教室や各事務室の扉や窓は常時開放とします。
出雲 ※9/1 から			WEB形式の活動を主とすることを推奨します。島根県外への移動が必要な場合は、『県内外への移動予定申請書』(寮生は外泊届を寮母に提出)にて移動予定をチューターに報告することとします。その他、臨地実習(寮生は外泊届を寮母に提出)にて移動予定をチューターに報告することとします。その他、臨地実習のある学生は「県境をまたぐ移動と健康観察」欄で示した内容を遵守してください。	学生は自由に構内への立入ができます。なお、引き続き日々の健康観察や感染拡大防止対策(マスク着用・手洗いや消毒の励行・3密状態の回避)を励行してください。 学外者は、感染拡大防止対策に最大限の配慮をいただき、キャンパス訪問を許可します。高大連携活動及び入試広報イベントについては、別に定めるガイドラインに準ずることとします。 なお、施設利用(学生ラウンジ、3階パソコン実習室)は、平日9時から17時の間で利用を許可します。	各キャンパスにおいてコロナ対策として定めたガイドライン等を条件に、一部の課外活動を許可します。 ポランティア活動については、原則として禁止しますが、学生の教育に繋がる活動や授業の一環として実施するものについては教員の指導の下で許可することがあります。	・アルバイトをする際には、チューターに届け出が必要です。 ・3密を避けること。休憩中にも3密+大声で喋らないこと。 ・感染リスクの高い施設でのアルバイトを禁止します。 ・その他、接客、対面となる業種については、(可能な限り自粛する)、感染防止対策を十分にとられているものを選ぶこと。	クラブ・サークル活動の対応に準ずることとします。	原則として、引き続き、全面禁止とします。	平日8時45分から20時の間で利用を許可します。なお、一度に利用する人数に制限を設け、感染対策を行います。学生・教職員以外の利用は禁止とします。			文部科学省が示すガイドラインを遵守した寮運営を行います。寮生の皆さんは、感染拡大防止対策を励行してください。	・常時、健康観察(体温測定)を行い、体調不良時は絶対に外出しないでください。症状によっては、かかりつけ医や保健所に相談してください。 ・感染拡大が報じられている地域への不要不急の移動は自粛して下さい。 ・帰省等、居住地を離れる場合は、県内外を問わず事前にチューターに『県内外への移動予定申請書』を用いて「移動先」「期間」「理由」を伝えること(県外から更なる移動(県内への移動を含む)についても『県内外への移動予定申請書』に記載すること)。寮生の場合は、寮母に外泊届を提出するが、無断外泊、虚偽記載は退寮の対象になることがある。 ・島根県外からの来県及び同地域への移動は、極力控えること。 ・やむを得ず島根県外へ移動する場合は、特に以下の点に留意すること。 ➤感染症対策を徹底する。(マスク、手指洗浄、三密の回避等) ➤繁華街への夜の外出は控える。 ➤会食などの際も、いわゆる三密を避ける等の感染症対策が十分にとられていない店舗や施設の利用は控える。 ➤「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」を利用する。 ・やむを得ず島根県外に滞在している場合は、必ず帰県後2週間は自宅待機し、健康観察を行うとともに、その間、アルバイトも中止し不要不急の外出を控え、他者との接触を極力控えること。また、体温測定等の健康観察及び体調不良時の大学への連絡を徹底すること。			